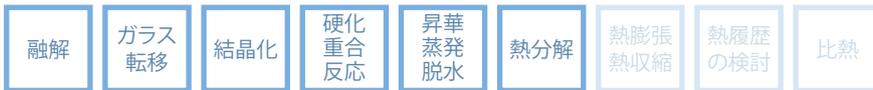


示差熱・熱重量同時測定 (TG-DTA) 装置

Simultaneous TG/DTA

DTG-60 シリーズ

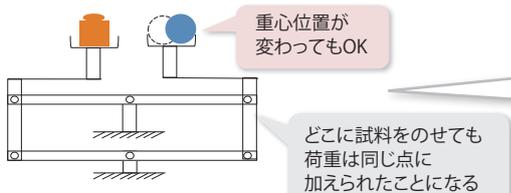
試料温度をプログラムに従って変化させ、試料の重量変化 (TG) と試料と基準物質の温度差 (DTA) を同時に測定する装置



高感度・高精度で測定可能

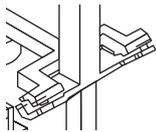
● 高精度のロバーバル機構の上皿天秤式

融解などによる試料の重心の変化によって感度が変わらないロバーバル機構を採用しました。

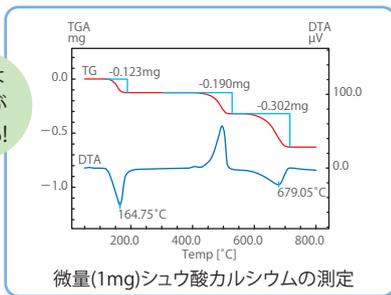


ディテクタの受皿のどこに試料があっても天秤感度が一定です。加熱による融解や膨張などによって試料の重心が変化しても感度は変わりません。

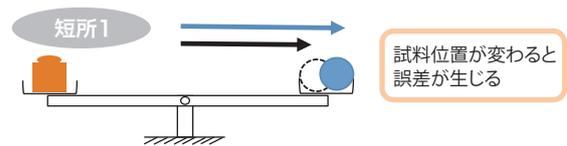
● 軽量支点 温度係数の微小な薄い合金バンドをX字形に構成して使用しています。この支点は、軽量で摩擦や抵抗が極めて小さいため、高感度な天びんを構成することができ、かつ耐震性に優れています。



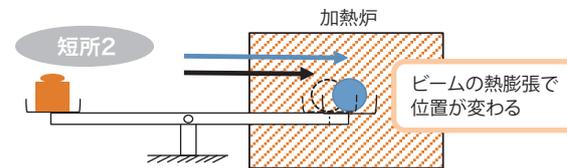
こんな測定ができる!



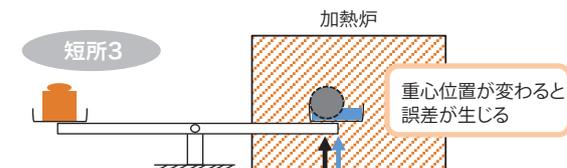
水平式の場合・・・



試料を置く位置によって重量測定結果が変わってしまいます。測定ごとに結果が変わる可能性があり、再現性が低くなります。



加熱炉でビームを加熱すると熱膨張により支点と試料の距離が変わり、重量測定結果が変わってしまいます。



加熱による融解や膨張などによって、測定中に試料の重心が変化した場合、重量測定結果が変わってしまいます。

さまざまな測定に対応

● 反応ガス用の流路を用意

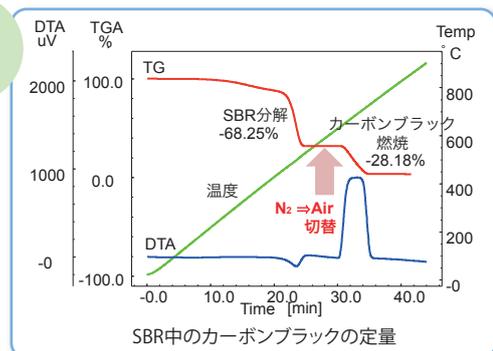
TG/DTA測定では、各種の反応や特殊雰囲気ガスによる試料との相互作用を観測することで、定性・定量分析や反応機構の検討、耐熱性を評価します。

DTG-60シリーズでは、独自の流路構成により様々な応用に対応可能です。ガス導入口の1つは、直接試料部にガスを導入することができ、反応に時間がかかりません。

● 重量測定範囲が広い

重量(TG)測定範囲が±500mg、秤量が1g(風袋込)と広く、多彩な測定に対応が可能です。

こんな測定ができる!

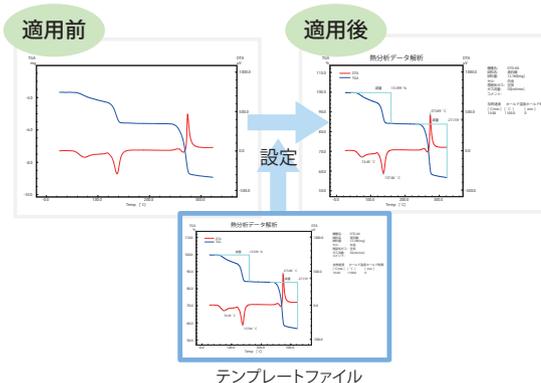


自動化によりハイスループットを実現

●「テンプレート機能」による自動解析機能で簡単解析
独自の「テンプレート機能」により補正や解析、レポート出力のレイアウト設定を自動で行うことができます。
解析時に使用するだけでなく、測定前に設定しておくことで測定終了と同時に自動的に適用し、保存することが可能です。

●分析待ち時間を短縮

内蔵の加熱炉冷却用ファンは、測定終了後、自動的に作動します。
また、所定の温度（設定変更可）で停止させることができ、次の測定に即座に対応できます。



分析ラボの規制に対応

分析ラボに関連する厚生労働省コンピュータ化システム適正管理ガイドラインやPIC/S GMPガイドライン、米国FDA 21 CFR Part 11に代表される電子記録・電子署名 (ER/ES) に関する規制に対応することが可能です。
当社は納入実績も多いので、安心してお任せください。

省スペースのコンパクトデザイン

設置面積が業界最小レベルのコンパクトデザイン (W367mm×D650mm×H474mm) を実現しました。
オートサンブラモデルでも大きさは変わりません。

自動で測定を行いたい方は・・・
オートサンブラモデル

DTG-60A

- オートサンブラは本体に内蔵!
- 24個の自動測定が可能
- 測定終了後、自動解析・出力が可能
- 割り込み測定でオートサンブラ動作中に通常測定可能



システム構成例



DTG-60

接続



露点気制御装置
FC-60A

試料セル さまざまな種類のセルを用意しています。
用途に合わせてお選びいただけます。



※オートサンブラ不可

LabSolutionsは、株式会社島津製作所またはその関係会社の日本およびその他の国における商標です。

本文に記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。

なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。
本製品は、医薬品医療機器法に基づく医療機器として承認・認証等を受けておりません。
治療診断目的およびその手続き上での使用はできません。
トラブル解消のため補修用部品・消耗品は純正部品をご採用ください。
外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社 島津製作所

分析計測事業部

604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1

製品情報



価格お問合せ



東京支社 (官公庁担当) (03) 3219-5631
(大学担当) (03) 3219-5616
(会社担当) (03) 3219-5622
関西支社 (06) 4797-7230
札幌支社 (011) 700-6605
東北支社 (022) 221-6231
郡山営業所 (024) 939-3790

つくば支店 (官公庁・大学担当) (029) 851-8511
(会社担当) (029) 851-8515
北関東支店 (官公庁・大学担当) (048) 646-0095
(会社担当) (048) 646-0081
横浜支店 (官公庁・大学担当) (045) 311-4106
(会社担当) (045) 311-4615
静岡支店 (054) 285-0124

名古屋支店 (官公庁・大学担当) (052) 565-7521
(会社担当) (052) 565-7531
京都支店 (官公庁・大学担当) (075) 823-1604
(会社担当) (075) 823-1603
神戸支店 (078) 331-9665
岡山営業所 (086) 221-2511
四国支店 (087) 823-6623

広島支店 (082) 236-9652
九州支店 (官公庁・大学担当) (092) 283-3332
(会社担当) (092) 283-3334

島津コールセンター ☎ 0120-131691
(操作・分析に関する相談窓口) IP電話等: (075) 813-1691